

【「これからの治水対策について考えるシンポジウム」に参加しました】

本文

12月12日に、会津若松市生涯学習総合センター（会津稽古堂）において、阿賀川直轄改修百周年記念イベントとして開催されたシンポジウムに参加しました。

阿賀川は大正10年（1921年）に直轄事業による改修工事が開始され、今年で百周年を迎えました。

事業経過説明では、国土交通省阿賀川河川事務所管理の大川ダム事前放流や治水事業整備効果により、令和元年台風災の発生はなかったとのことでした。

記念イベントとして会津若松市の川南小学校児童による「小松彼岸獅子」の披露、大戸小学校児童による水生生物調査の学習発表がありました。

基調講演では、気温が2℃上昇すると降雨が1割増、河川流量が2割増となり、発生頻度は倍になるとの説明がありました。

そのほか、リレースピーチでは、会津も世界と同様に平均気温が100年で2℃上昇し、地球温暖化は「進んでいる」という説明があり、流域全体で治水対策を進めていく「流域治水」について、より深く考えるきっかけとなりました。

#南会津建設 #南会津 #福島県 #北陸 #建設 #土木 #南会津町 #下郷町 #河川 #阿賀川 #直轄 #大川ダム #治水 #流域治水 #シンポジウム #ふくしまの建設

#minamiaizu #fukushima #japan #civil_engineering #construction #aizu



